

令和元年度の協働による防災・減災の取り組み状況

本町では、住民、事業者、自主防災組織、自治会、避難支援等関係者などと防災・減災における役割を果たし、お互いに連携、協力して災害に強いまちづくりを進めるため、自助、共助、公助、協働による防災・減災をテーマに全26条からなる「熊野町防災・減災まちづくり条例」を制定し、令和2年4月1日から施行しました。

第17条の規定に基づいて以下のとおり、主な取り組み状況を公表します。

自 助	共 助
<ul style="list-style-type: none"> 大原ハイツ、滝ヶ谷団地、葵団地において避難訓練を実施 大原ハイツおよび川角自主防災会において避難マップを作成 	<ul style="list-style-type: none"> 熊野町防災・減災まちづくり会議の開催（防災・減災の意見を取りまとめ、防災・減災条例検討委員会へ提出） 自主防災組織を3団体設立（皇帝ハイツ管理組合、滝ヶ谷団地、大原ハイツ）

協 働

公 助
<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ（第一小学校区、第三小学校区）の作成、配布 避難所総合案内板を町内9カ所に設置（町民会館、東部地域健康センター、西部地域健康センター、中央ふれあい館、くまの・みらい交流館、町民体育館、第一小学校、第三小学校、第四小学校） 大原ハイツ避難路の整備、葵団地避難路や東部地域防災センターサプラートの事業着手






(防災安全課)

くまのハーブ通信 Vol.5

ハーブでニコニコもからだもリフレッシュ～くまの美人になろう～

次の年まで楽しめる 秋に植えたいハーブ

爽やかな実りの季節になりました。今回は、冬の寒さに強い、秋に植えるのに適したハーブを5種類ご紹介します。

オレガノ  ✓胃腸の調子を整え、消化を促進。強壮作用もあり、心身の疲労回復にも効果。最近疲れ気味の人にもおすすめ。 ✓鎮静作用があり、神経をそっと落ち着かせてくれる。神経性の頭痛や生理痛、筋肉の痙攣を和らげ、咳を鎮める効果も。	セージ  ✓更年期の様々な症状、生理痛やPMSなどに効果的。ホルモンの乱れが原因のイライラや不安には特におすすめ。 ✓抗菌作用や免疫力アップの作用もある。細胞の抗酸化作用が強い。 ✓妊娠中の摂取は控えめに。	タイム  ✓防腐、殺菌、去痰、消化促進の効果がある。抗菌作用はハーブの中でも非常に強い。 ✓腸の疾患や腫れものを治し、視力回復や頭をすっきりさせる。 ✓心身の疲労回復や不安・抑うつ状態の改善などに役立つ。	ディル  ✓胃腸のはたらきを調整する効果があり、消化を助けて胃もたれや腹痛を緩和してくれる。 ✓口臭の解消にも効果があり、おだやかな催眠効果があるため不眠症にも用いられる。	ローズマリー  ✓頭痛や偏頭痛などの痛みの緩和、消化器系のトラブルなど日常的な不調のケアに用いられる。 ✓ストレスを癒し、不安や疲労、無気力の緩和に。 ✓血行促進作用に優れているため、冷え性や低血圧にも効果的。 ✓妊娠中の摂取は避けて。
--	---	--	--	---

ハーブと香りの体験講座「くまの美活動ゼミ」がはじまります！

「くまの美活動ゼミ」では、美と健康をつくるハーブの魅力を学びながら、町内にハーブを楽しむ仲間を広く広げていきたいと考えています。今年度の講座では、「香り」に着目し、ハーブの楽しみ方をより深く探っていきます。単発のご参加やお子さま連れも歓迎です。詳しくは、10月の回覧チラシまたは町ホームページをご覧ください！

10月21日(水) 14:00～16:00
 ※10月から来年の2月にかけて全5回開催します。次回以降の講座開催日時は決まり次第お知らせしますので、町のホームページや広報を要チェック。
 〆くまの・みらい交流館
 〆講師・渡部 裕子氏(むすび舎)

(産業観光課)

家庭読書「くまどく」
家族と一緒に同じ本を読み、感想などを共有し、家族の絆を深めましょう。



季節性インフルエンザワクチン 接種時期ご協力をお願い

今冬は新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備え、インフルエンザワクチン予防接種の需要が高まると予想されています。日本感染症学会の提言では、高齢者、医療従事者、妊婦、乳幼児～小学校低学年の接種が強く推奨されています。ワクチンをより必要とされている人が確実に接種できるように、接種時期のご協力をお願いします。

10月1日～

65歳以上の人(※60～64歳の心臓、じん臓、呼吸器の機能などに障害がある人も含む。) 65歳以上の方が接種できるように上記以外の方は10月26日まで接種をお待ちください。

今年度の高齢者インフルエンザ予防接種は1,000円で受けられます
(住民税非課税世帯・生活保護世帯は無料です)

〆接種日において熊野町に住民票があり、以下のどちらかに該当する人

- ①65歳以上の人
- ②心臓、じん臓、呼吸器の機能などに障害がある60～64歳の人（主治医に相談してください。）

〆10月1日(木)～令和3年1月31日(日) ※休診日を除く

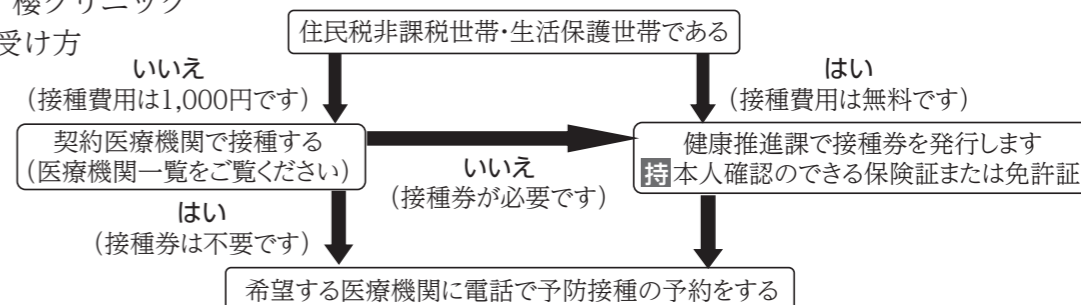
〆接種回数・1回

〆医療機関一覧

【町内】宗盛医院、片山医院、梶山医院、藤田小児科医院、大瀬戸内科、酒井耳鼻咽喉科皮膚科、豊田レディースクリニック、児玉クリニック、高橋整形外科クリニック、りんりんクリニック（通院患者のみ）、熊野ゆうあいホーム（入所者のみ）

【町外】済生会広島病院、介護老人保健施設はまな荘（入所者のみ）、南海田病院、津丸内科医院、瀬野白川病院、よしだ内科呼吸器科、社会福祉法人あと会、特別養護老人ホームエバークリーンホーム（入所者のみ）、クレア焼山クリニック、廣本クリニック、行武内科医院、櫻クリニック

〆予防接種の受け方



10月26日～

医療従事者・基礎疾患を有する人・妊婦・生後6か月～小学校2年生
上記以外の方も接種できます。

子ども・妊婦インフルエンザ予防接種費用の助成を予定しています

今年度は、インフルエンザワクチン定期接種対象者(65歳以上)に加え、助成対象者を拡充する予定です。詳しくは、ホームページなどでお知らせします。

※示した日程はあくまで目安であり、対象の人以外の接種を妨げるものではありません。

10月1日からロタウイルスワクチンが定期接種になります

ワクチンの特徴や接種間隔、副反応などについて厚生労働省ホームページをご覧ください。

〆接種日において熊野町に住民票がある令和2年8月1日以降に生まれた乳児 ※あかちゃん訪問（生後4か月までのあかちゃんがいる家庭を保健師が訪問します。）の際に、予防接種券および予診票をお渡しします。

厚生労働省
ホームページ



(健康推進課)